

放課後キッズクラブ・放課後児童クラブでの長期休業期間中における 昼食提供のモデル実施に係るアンケート調査結果について

放課後キッズクラブ・放課後児童クラブでの長期休業期間中の昼食提供について、令和6年度の夏休みにモデル実施しました。モデル実施における課題や昼食提供のニーズ等を把握するため、児童・保護者・クラブを対象にアンケート調査を実施しましたので、結果を御報告します。

1 概要

(1) モデル実施概要

項目	内容
実施期間	令和6年7月22日～8月26日（土、日、祝日、お盆期間等を除く）
利用料金	400円/食
利用方法	各昼食提供事業者が用意するWEBサイトから直接利用登録・注文・支払いを行う
利用があったクラブ数	全565クラブのうち516クラブ（91.3%） （内訳） 放課後キッズクラブ（336クラブ）、放課後児童クラブ（180クラブ）
対象児童	47,631人（キッズクラブ 38,480人、児童クラブ 9,151人）
昼食利用登録者数	21,624人
利用人数	16,109人（利用登録者の74.5%）
延べ提供食数	123,973食
平均提供食数	6,084食/日

(2) アンケート調査

対象	児童	保護者	クラブ
実施期間	令和6年8月20日～8月26日	令和6年9月13日～10月7日	令和6年9月13日～10月16日
実施方法	15クラブでアンケート用紙を配布	全保護者を対象にWebアンケート	全クラブを対象にWebアンケート
回答数 （回答率）	243人	11,652人/79,331人※ （14.7%）	491/565クラブ （86.9%）

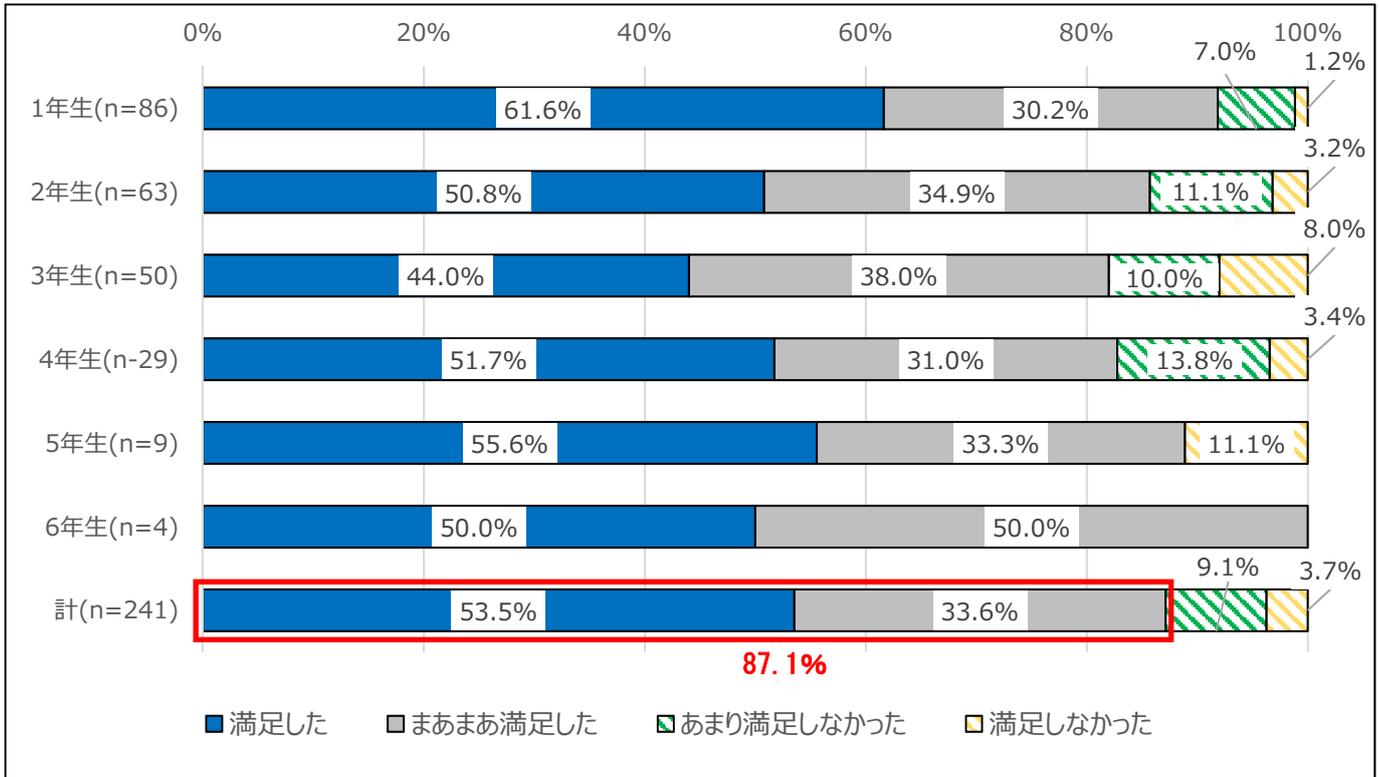
※ R6.4月時点（放課後キッズクラブ：70,180人、放課後児童クラブ：9,151人）

2 アンケート調査の主な結果について

(1) 児童向けアンケート

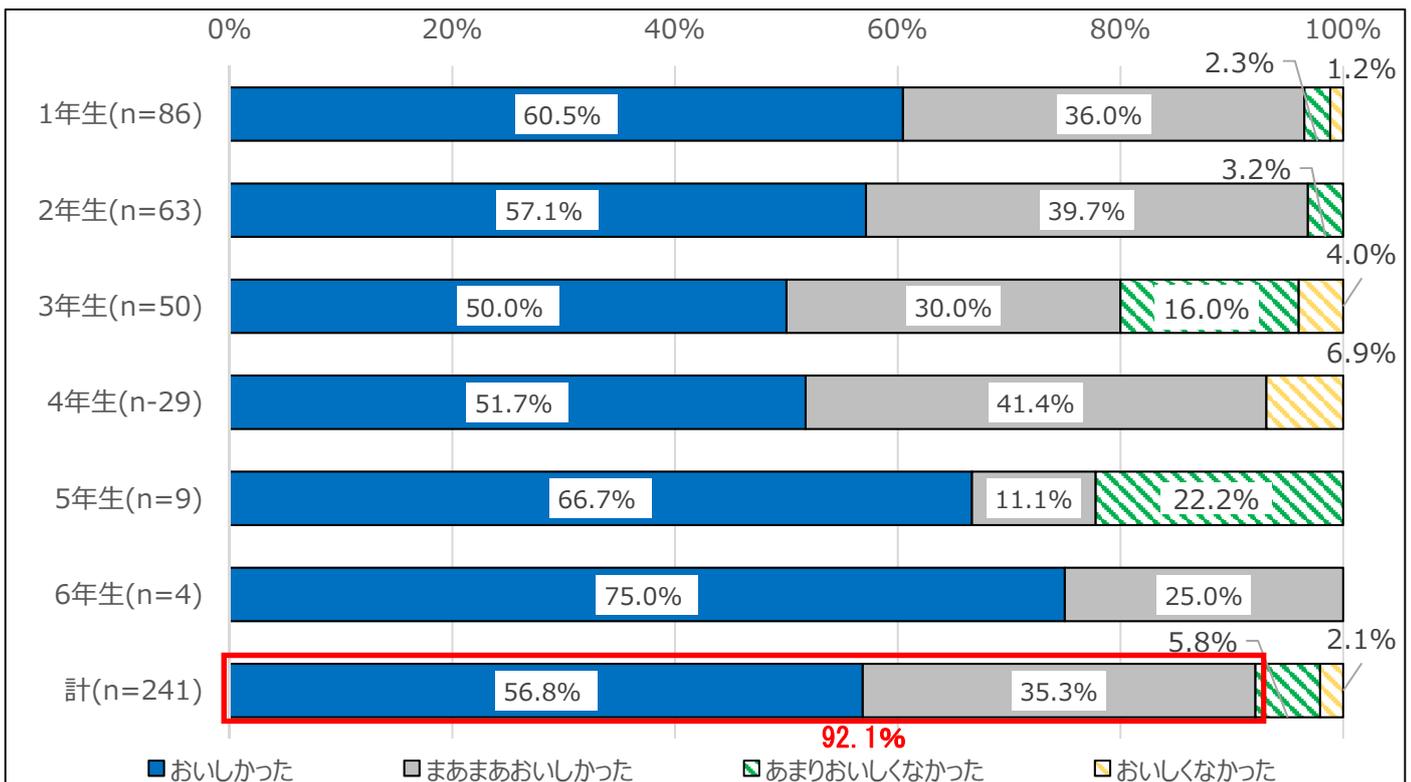
ア お弁当は満足しましたか

全体の87.1%の児童が、「満足した」「まあまあ満足した」と回答しており、多くの児童が満足感を得ていたことがわかりました。



イ お弁当は美味しかったですか

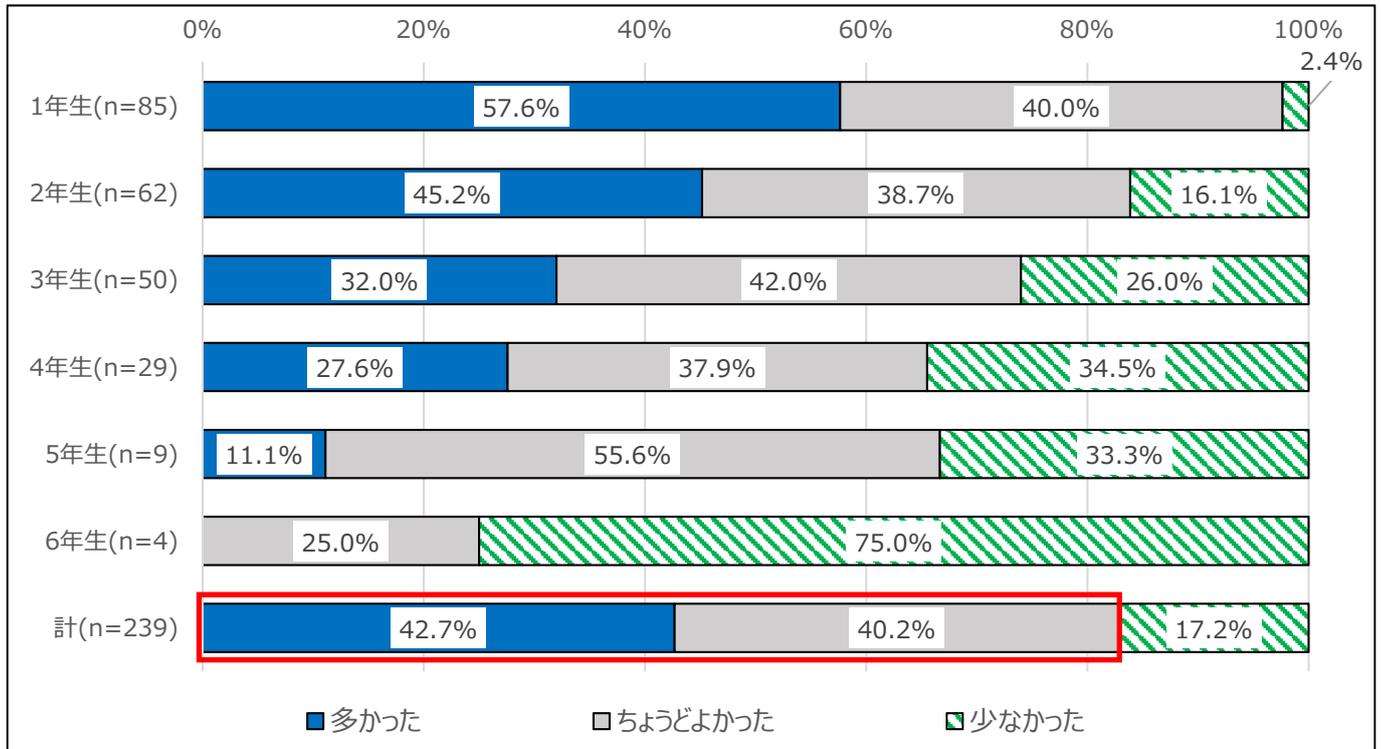
全体の92.1%の児童が「おいしかった」「まあまあおいしかった」と回答しています。



ウ お弁当の量はどうか

全体の児童の 42.7%が「多かった」と回答しており、次いで「ちょうどよかった」が 40.2%となっていました。

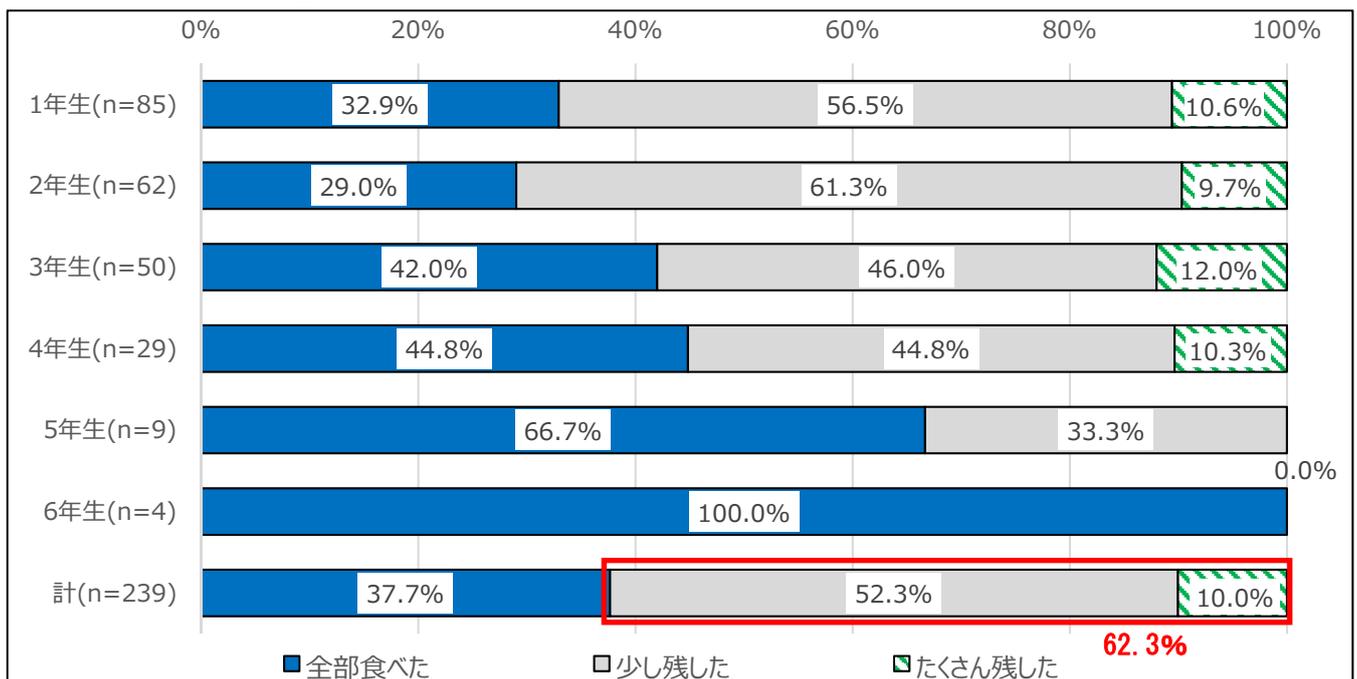
学年別の傾向では、低学年ほど「多かった」と回答する割合が、高学年ほど「少なかった」と回答する割合が高くなっていました。



エ お弁当は残さず食べられましたか

全体の児童の 62.3%が「少し残した」「たくさん残した」と回答しており、「全部食べた」と回答した児童の割合は 37.7%に留まりました。

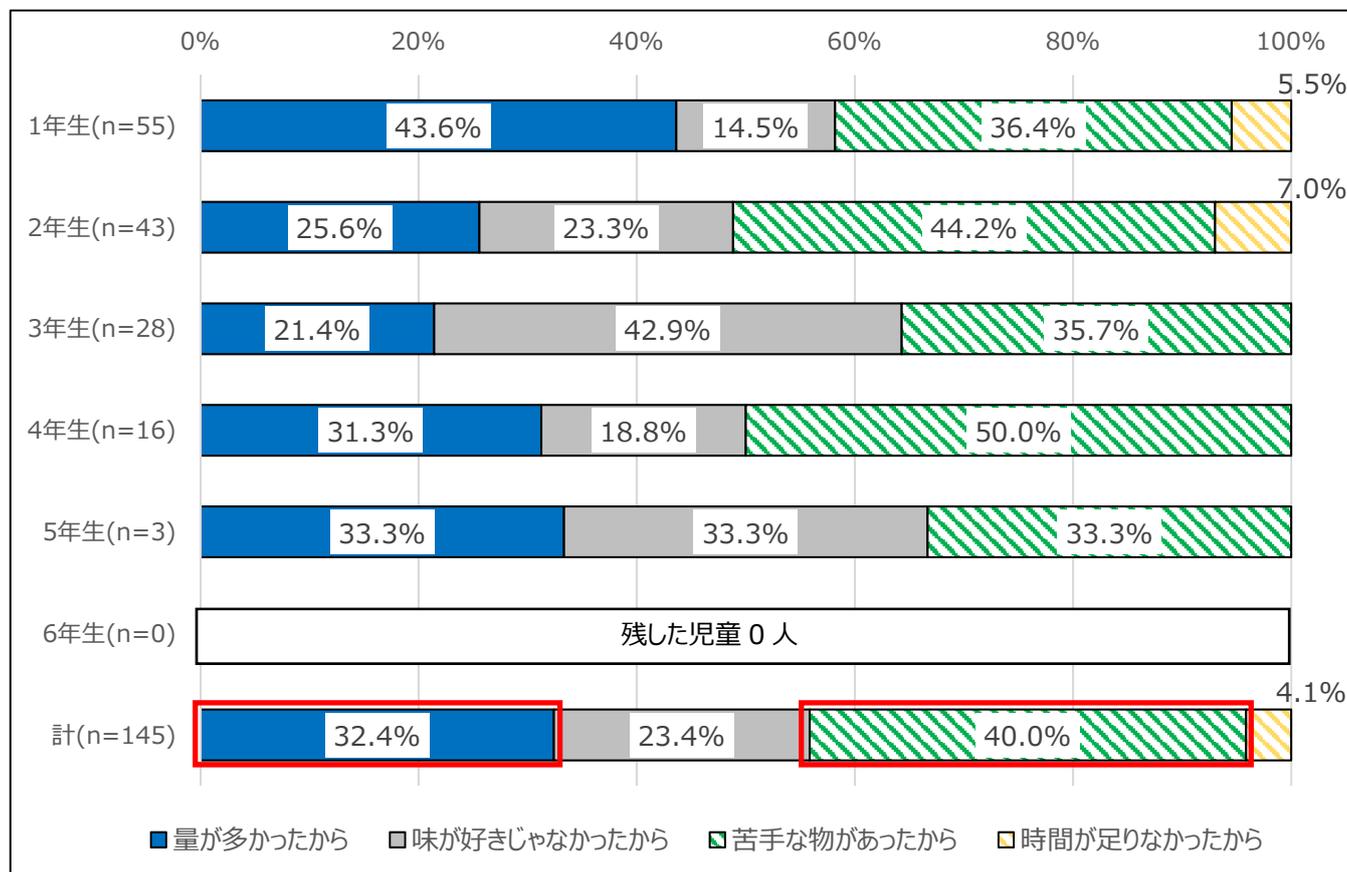
なお、学年別の傾向では、学年が上がる则「全部食べた」と回答する割合が高くなっていました。



オ お弁当を残した理由はなんですか

お弁当を「少し残した」「たくさん残した」と回答した児童に、残した理由を尋ねたところ、最も割合が高かったのが「苦手なものがあったから」で40.0%、次いで「量が多かったから」が32.4%でした。

学年別の傾向では、1年生では「量が多かったから」と回答している割合が最も高くなっていましたが、それ以外の学年では「苦手なものがあったから」の割合が高くなっていました。



カ お弁当に最も入れて欲しいもの、入れて欲しくないもの（自由記入）

お弁当に入れて欲しいものの1位は「ハンバーグ」で、以下、唐揚げ、フライドポテトなどのメニューがあがりました。

また、お弁当に入れて欲しくないものでは、1位は「ナス」となり、野菜類が目立つ結果となりました。

■ お弁当に入れて欲しいもの

1位	2位	3位	4位	
ハンバーグ	唐揚げ	フライドポテト	玉子焼き	カレー
28人	21人	13人	11人	11人

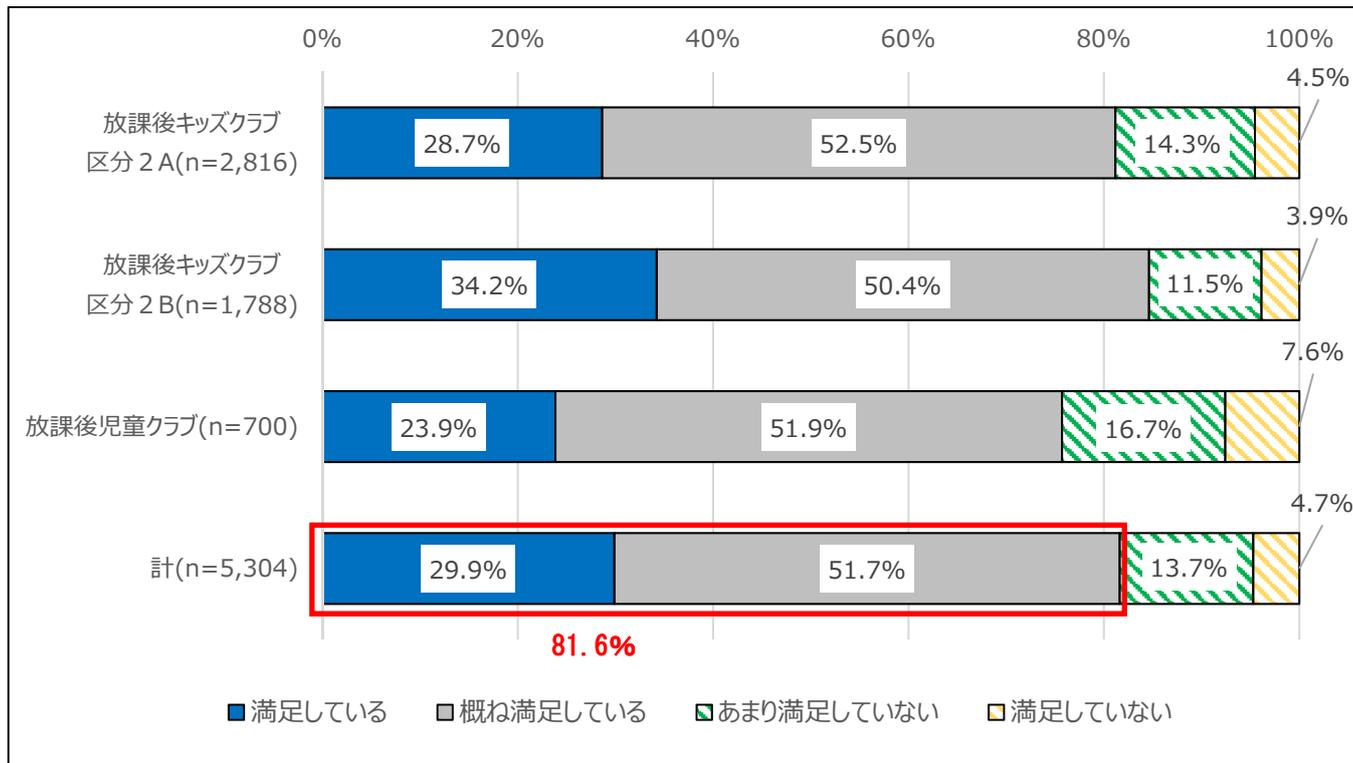
■ お弁当に入れて欲しくないもの

1位	2位	3位	4位	5位
ナス	ピーマン	きのこ	野菜	ニンジン
29人	22人	19人	14人	14人

(2) 保護者向けアンケート

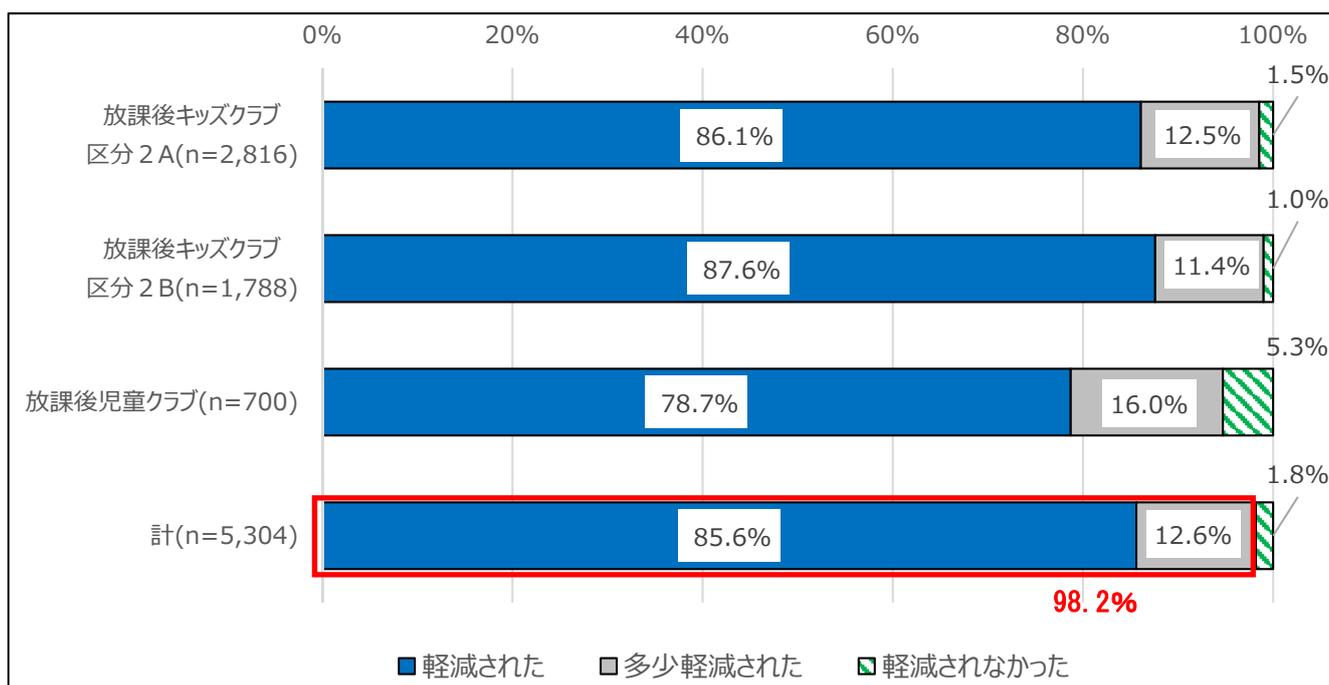
ア クラブでの昼食提供の満足度を教えてください

昼食提供を「利用した」と回答した保護者のうち、81.6%が「満足している」「概ね満足している」と回答していました。



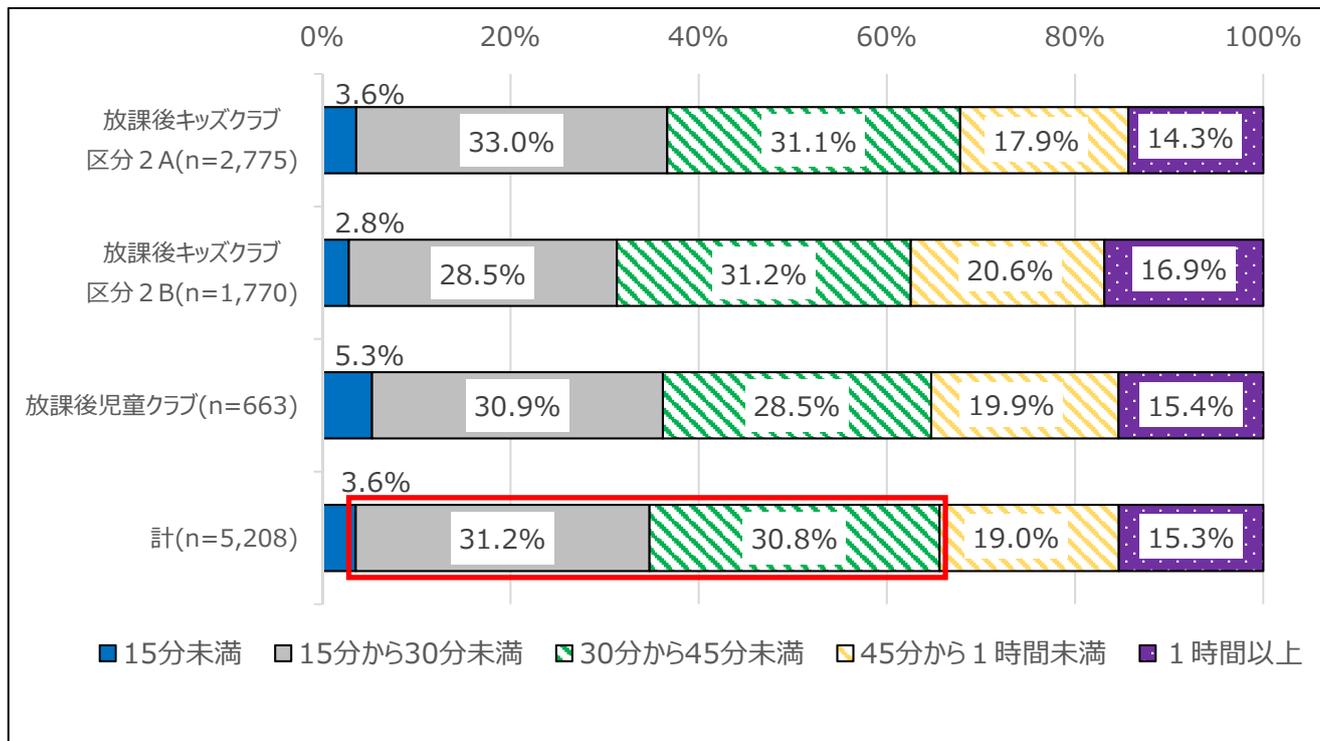
イ お弁当を注文したことによって、時間的負担が軽減されましたか

昼食提供を「利用した」と回答した保護者のうち、85.6%が「軽減された」と回答しており、「多少軽減された」を含めると、98.2%の保護者が、時間的負担が軽減されたことを実感していました。



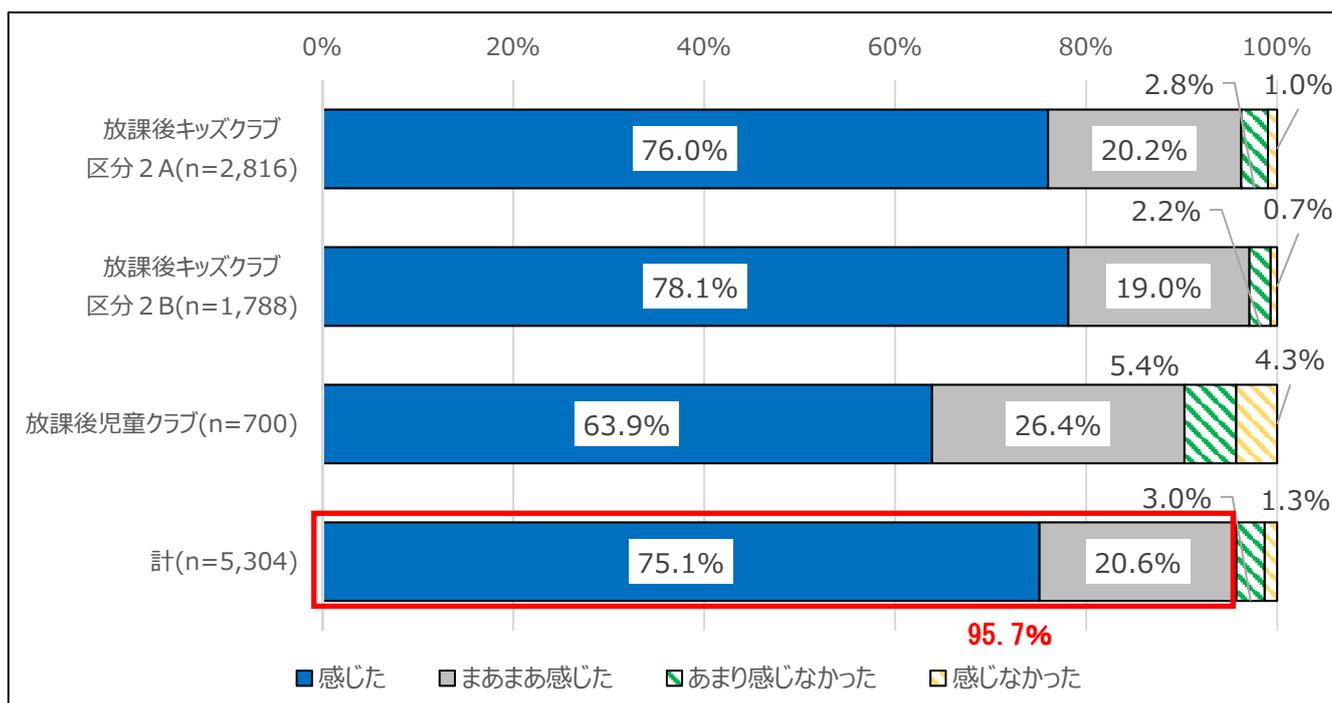
ウ お弁当の準備にかかっていた時間が、どのくらい軽減されましたか

負担が「軽減された」と回答した人のうち、31.2%が「15分から30分」、次いで30.8%が「30分から45分」と回答しました。昼食提供により軽減された時間的負担を一定の条件で試算したところ、一人当たりの時間は38分となっていました。



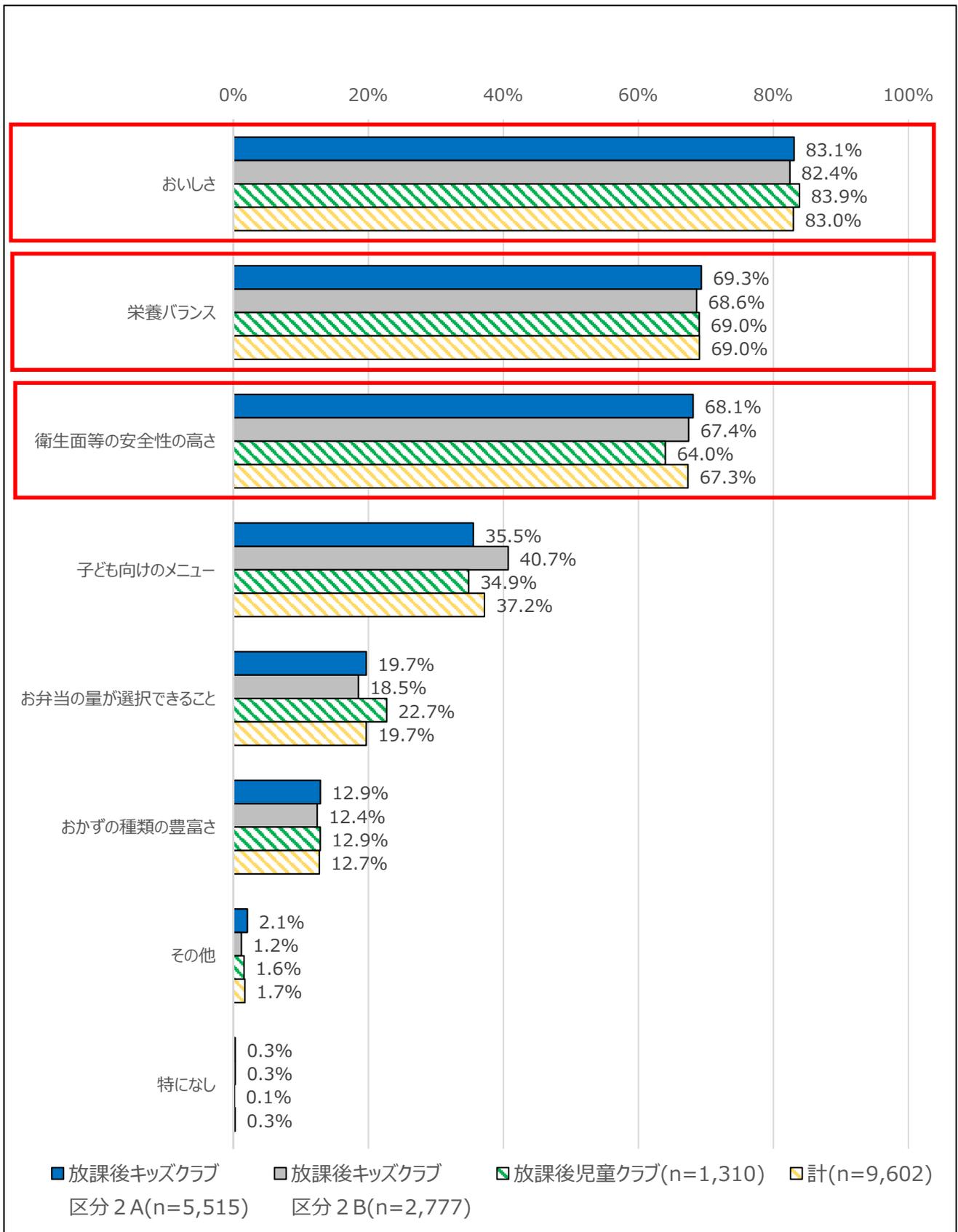
エ クラブでの昼食提供が開始されたことで、気持ち的な「ゆとり」を感じましたか

昼食提供を「利用した」と回答した保護者のうち、75.1%が「ゆとりを感じた」と回答しており、「まあまあゆとりを感じた」を含めると、95.7%の保護者が、気持ち的なゆとりを実感していました。



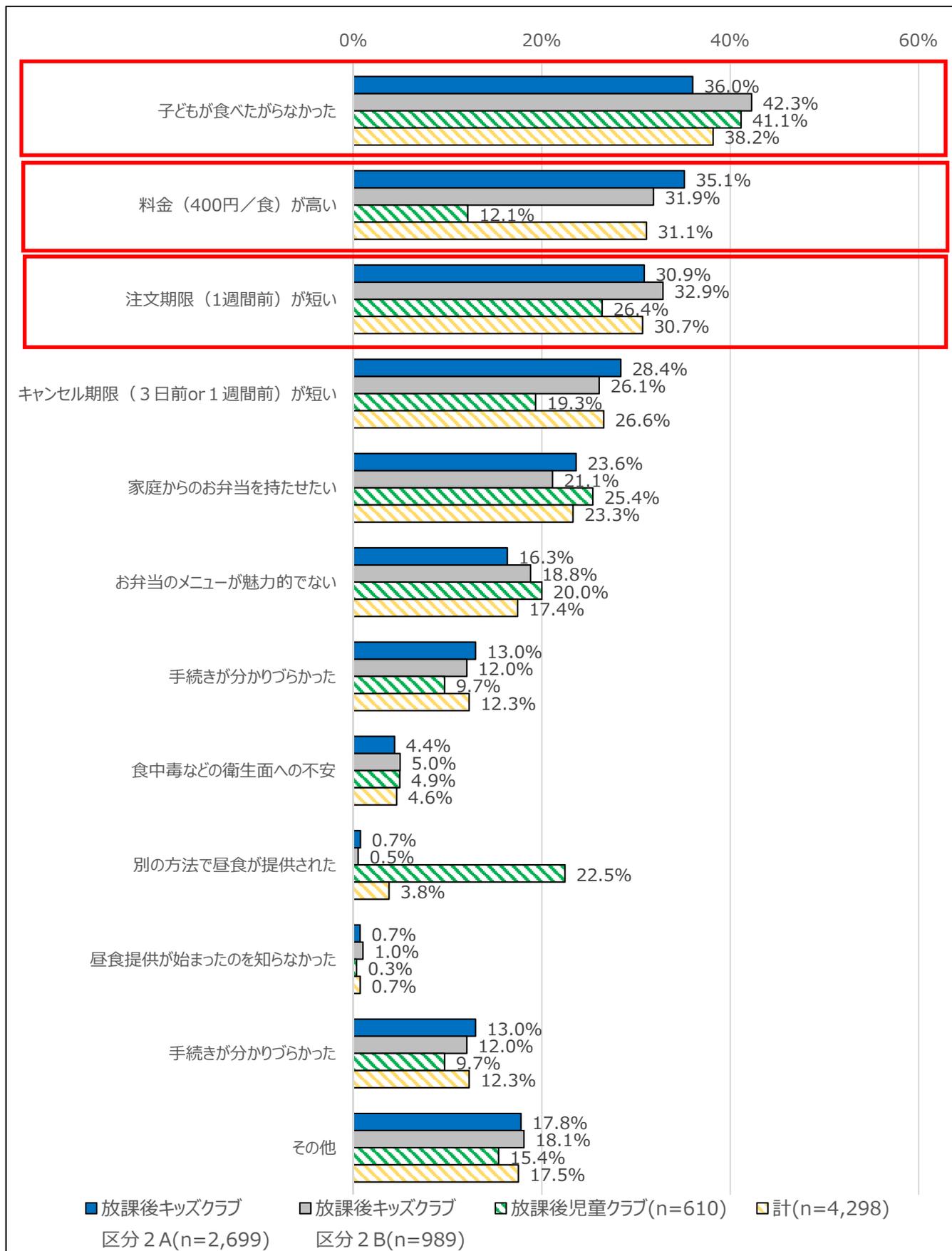
オ お弁当の内容について、期待するものはなんですか（3つまで回答）

「おいしさ」が83.0%で最も多く、次いで「栄養バランス」が69.0%、「衛生面等の安全性の高さ」が67.3%となっていました。



カ 昼食提供を利用しなかった理由は何ですか（3つまで回答）

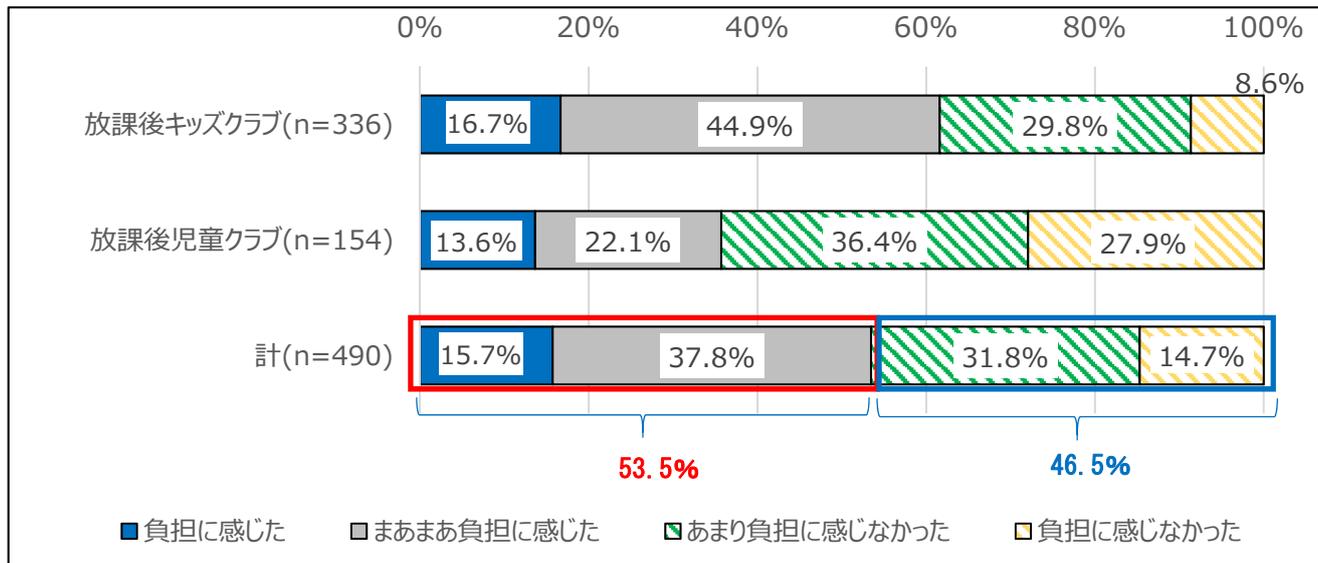
昼食提供を「利用しなかった」と回答した保護者のうち、「子どもが食べたがらなかった」が38.2%で最も多く、次いで「料金(400円/食)が高い」が31.1%、「注文期限（1週間前）」が短い」が30.7%となっていました。



(3) クラブアンケート

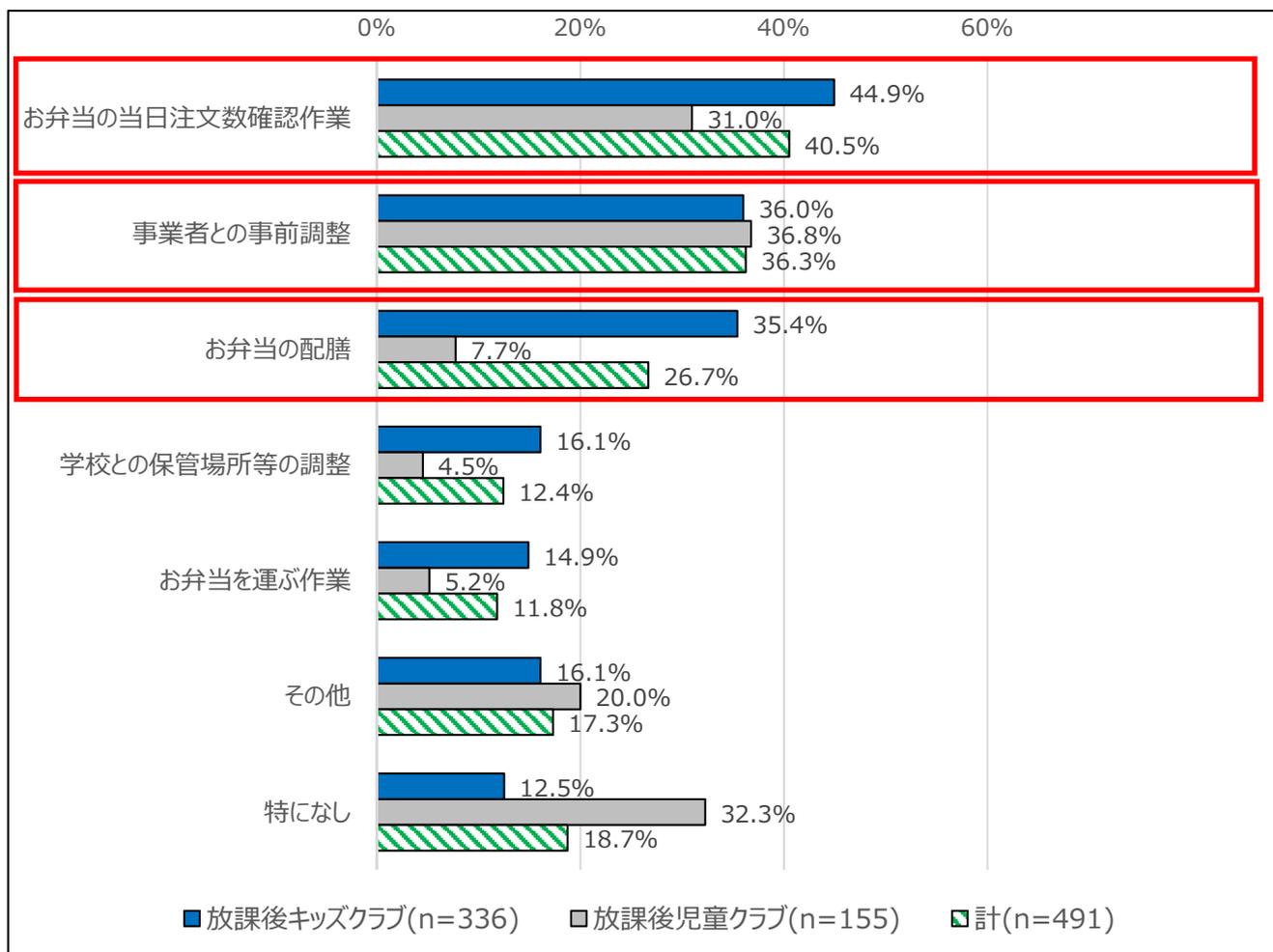
ア 屋食提供事業への対応について、負担に感じましたか

「負担に感じた」「まあまあ負担に感じた」と回答したクラブが 53.5%、「負担に感じなかった」「あまり負担に感じなかった」と回答したクラブが 46.5%となっていました。



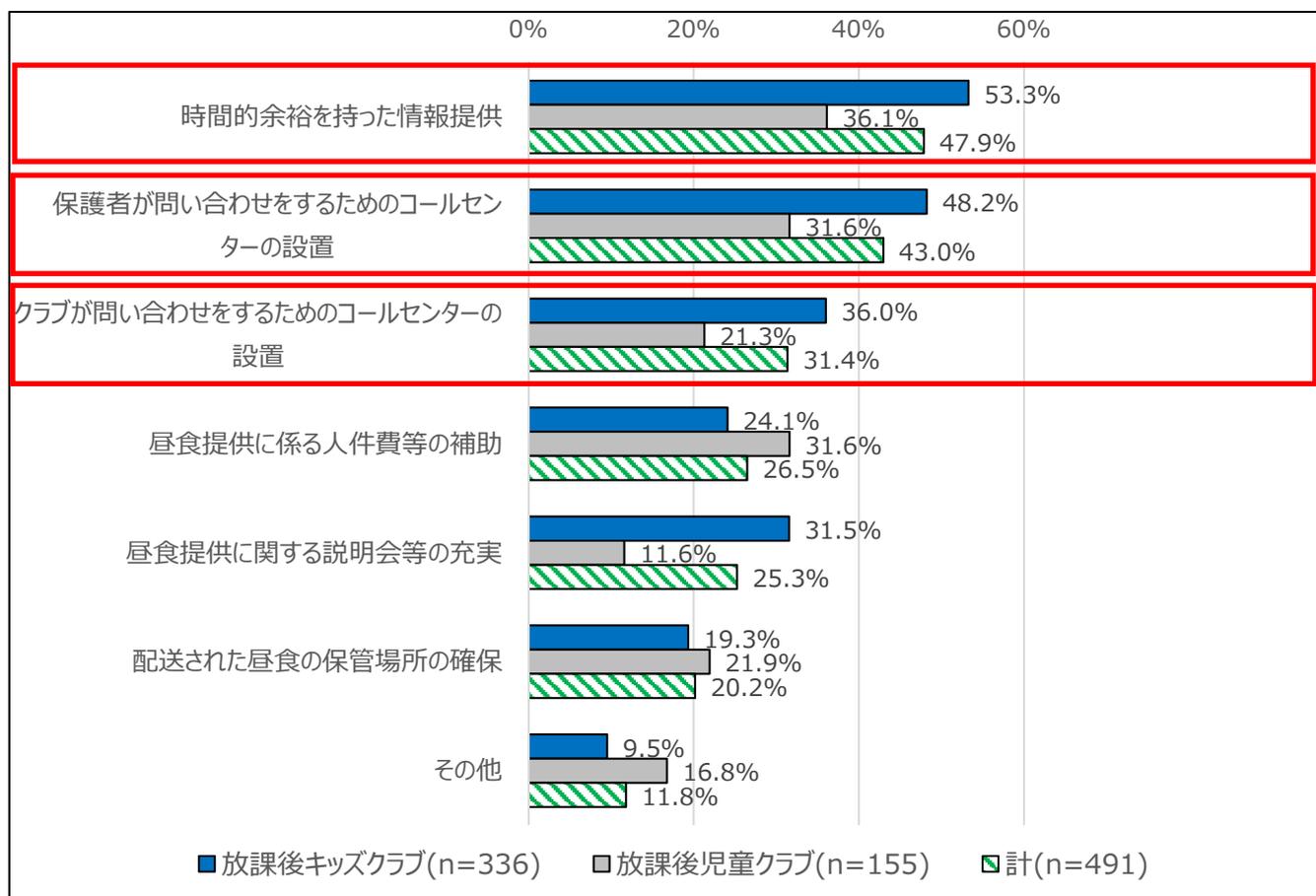
イ 屋食提供事業について、対応が大変だったものを選択してください（3つまで）

「お弁当の当日注文数の確認作業」が 40.5%で最も多く、次いで「事業者との事前調整」が 36.3%、「お弁当の配膳」が 26.7%となっていました。



ウ クラブでの昼食提供のために、横浜市からの必要な支援として当てはまると思うものを選択してください（3つまで）

「時間的余裕を持った情報提供」が47.9%で最も多く、次いで「保護者が問い合わせをするためのコールセンターの設置」が43.0%、「クラブが問い合わせをするためのコールセンターの設置」が31.4%となっていました。



3 まとめ

今回のモデル実施では、利用した保護者の8割以上の方が「満足・概ね満足」と回答しました。また、約96%の方が、気持ち的な「ゆとり」を実感したと回答したことから、**保護者の時間的・精神的なゆとりの創出に一定の効果**があったと考えています。

お弁当の内容については、児童の9割以上が「美味しい」と回答したものの、喫食状況では「少し残した・たくさん残した」と回答した児童は6割以上で、残した理由としては「苦手なものがあった」が最も多い結果となりました。保護者が昼食提供を利用しなかった理由としても、「子どもが食べたがらなかった」が最も多かったことから、今後は、**児童の嗜好を意識したメニューを検討**することも必要です。

また、事業者による食物アレルギー表示の記載漏れにより、児童に健康被害があったことに加え、保護者から「衛生面等の安全性の高さ」が期待されていることから、**より一層の安全性の確保、衛生面での対応**が必要です。

今回のアンケート調査結果等を踏まえ、来年度に向けてより良い事業となるよう取り組んでいきます。

【参考】横浜市 放課後児童健全育成事業の概要

	放課後キッズクラブ	放課後児童クラブ
内容	学校施設を活用した全ての子どもたちを対象にした「遊びの場」と留守家庭児童を対象とした「生活の場」の役割を兼ね備えた事業	留守家庭児童対象の「生活の場」として、地域の実情に応じて民間施設等を活用した事業
クラブ数	337 クラブ (R6. 4月時点)	228 クラブ (R6. 7月時点)
登録児童数	70,180 人 (R6. 4月時点)	9,151 人 (R6. 4月時点)
利用料	わくわく【区分1】 : 無料 すくすく【区分2A】 : 月額 2,000 円 すくすく【区分2B】 : 月額 5,000 円	平均利用料 18,400 円/月 (R6. 4月時点) ※利用料はクラブにおいて設定
運営主体	NPO 法人、株式会社、社会福祉法人等	運営委員会又は法人